

「神の国へまきこまれていく私たち」

私は、車の運転をすることが多いのですが交通事故だけは起こさないように気をつけています。(皆さん、そうだと思いますが)

事故を起こさないために運転中に気をつけることは多々ありますが、一つは横断歩道を歩いている方への注意です。具体的にいうと、まずは左折の時に進行方向に対して左側から横断歩道を渡ろうとしている歩行者や自転車走行者を見落とさないようにすることです。

いわゆる運転用語で「まきこみ確認」です。左折時は同じ進行方向から来る人が車の死角に入り、バックミラー、サイドミラーから消えてしまうので自分の目でしっかりと確認しなければなりません。特に危ないのが夕暮れです。夕日が反射して本当に見づらくなり、私も何度かヒヤリとしたことがあります。

歩行者や自転車を運転している人をまきこんでケガを負わせないように最新の注意をしなければなりません。車の運転において「まきこみ確認」はドライバーにとって大切なことです。

前置きが長くなりましたが、そんな「まきこみ確認」をいい意味で使っている仲間の司祭さんがいてなるほどと思いましたので紹介します。

ある教会で行うプログラムを準備していた時の事です。日程や会場、参加費、プログラムなどが決まりご案内を信徒の方や関係者に配布してお知らせをするときにできるだけ多くの人にこの知らせを伝えるためにその司祭は準備スタッフに次のように言いました。「皆さん、巻き込み確認ですよ！！」その意味は、アンテナを張り巡らしてでき

る限り多くの方に声をかけて案内をしましょう。一人でも多くの人に呼びかけて巻き込んでいきたいと思いますという事を伝えたかったのだと思います。運転では「まきこみ確認」は事故を起こさないように、歩行者や自転車運転者を巻き込まないように注意することを意味しますが、ここでは全く逆の意味として、「みんなを巻き込んでいましょう」という積極的な意味で使われたのです。私は、素敵なキャッチフレーズだなと思い、それ以降私も「まきこみ確認」を大切にしていきたいと常日頃思っています。

主イエス様の招きも私は究極の「まきこみ」だと思うのです。誰一人として神の国への招きから漏れず、皆を神の国へ巻き込もうとされているのです。

主の熱い思いは、私たち一人一人に向けられています。

盛岡聖公会はキリストの教会です。一人一人がキリストに結ばれた主の家族です。

皆さんそれぞれの生活や背景も時の流れと共に変わってきており、不安も正直あると思います。しかし、どうか復活された主は今日も明日も、そしてこれからもずっと変わらず私たちを神の国へ招き続けてくださり、わたしたちを神の国へ巻き込もうとされています。私たちも互いに励まし合い、互いに呼びかけあい、「巻き込み確認」を大切に共に歩んで参りましょう。

(司祭 ステパノ 越山哲也)